

Uni-KOSEN「第2回編入学説明会」

イベント実施 活動報告書

## 目次

1. イベント概要.....	2
1-1. 名称.....	2
1-2. 目的.....	2
2. イベント詳細.....	2
2-1. 内容.....	2
2-2. ターゲット.....	2
2-3. 開催日時.....	2
2-4. 宣伝方法.....	3
2-5. 協賛企業さま（敬称略）.....	3
2-6. 後援団体.....	3
3. 実施実績.....	4
3-1. 来場者数.....	4
3-2. 各大学5分登壇セッション.....	5
3-4. 日本大学紹介.....	7
3-5. フリートークセッション.....	7
4. アンケート結果.....	8
4-1. 結果概要.....	8
4-2. 各セクションの満足した理由（一部抜粋、原文ママ）.....	9
4-3. 参加者の意見.....	10
4-4. 結果のまとめと今後必要な施策.....	10
5. 局長所感.....	11
6. 総括.....	13
7. 今後の展望.....	14

## 1. イベント概要

### 1-1. 名称

Uni-KOSEN(高専大学編入連合)

### 1-2. 目的

本イベントは全国の編入を目指す学生が一つの会場に集結し、高専から大学へと編入した学生による説明会とフリートークを行うハイブリット形式でのイベントです。イベント開催を通して、参加学生の視野を広げ前進し続けるきっかけづくりの場を創出することを目的としています。Uni-KOSENに所属する学生がイベントの企画から広報、運営まで行いました。

## 2. イベント詳細

### 2-1. 内容

参加学生に編入試験や大学編入後の生活などの情報を提供する為に、編入した学生による5分登壇セッションと協賛企業による発表を行いました。加えて登壇者、企業のブースを設け、15分×4セットのフリートーク形式で参加学生の相談や質問に個別に答えました。

### 2-2. ターゲット

高専から大学への編入を考えている学生や、進学と就職で迷っている学生

### 2-3. 開催日時

2023年9月23日(日本大学理工学部タワー・スコラ)

## 2-4. 宣伝方法

- ・公式ホームページ
- ・各種 SNS (Facebook、X、Instagram、)
- ・高専機構さまの広報を通じた各高専からの連絡
- ・zenpen さまの HP 告知

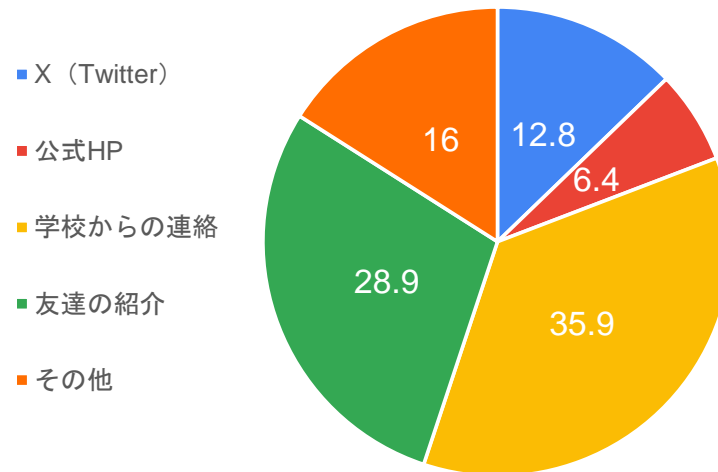


図 本イベントを知ったきっかけ (%)

## 2-5. 協賛企業さま (敬称略)

- ・OLIENT TECH 株式会社
- ・株式会社 Spring Knowledge
- ・株式会社ナレッジスター
- ・株式会社プロッセル
- ・株式会社みらいスタジオ
- ・株式会社みらい創造機構
- ・C-Style 株式会社
- ・TAKAO AI 株式会社
- ・高橋塾

(50 音順、敬称略)

## 2-6. 後援団体

- ・ZENPEN
- ・国立高等専門学校機構 (敬称略)

### 3. 実施実績

#### 3-1. 来場者数

参加者数：約130名

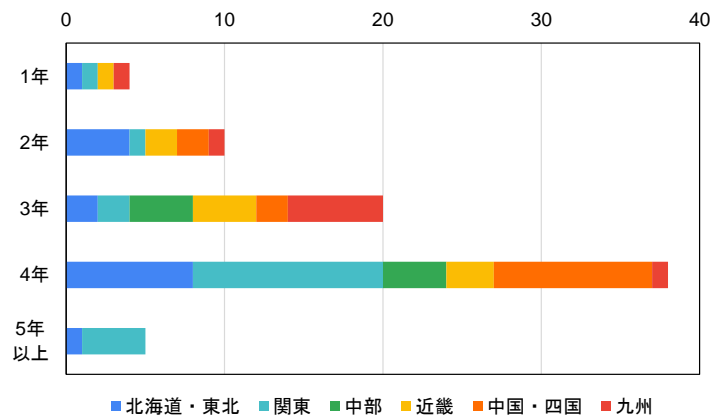


図 学年・地域別参加者内訳



参加者の集合写真

## 3-2. 各大学5分登壇セッション

発表者名	大学名/学年	発表タイトル
土屋沙輝	東京工業大学/B3	東工大の話・勉強の話・大学生活の話 なんでも話します
林奈香	東京工業大学/B3	私が思う編入の良さ
澤原菜々子	東京海洋大学/B3	編入後の生活の実際
鈴木伸太郎	佐賀大学/B3	「なんとなく」から始める地方国立編入
赤嶺和奏	徳島大学/B3	編入後体験記
谷山勇士郎	福井大学/B3	成績平均60点台による自己推薦と分野変更
SHARMA SAURABH	熊本高専熊本キャンパス /5年	千葉大学編入受験体験記
村上紗矢華	東京都立大学/B3	計画性0だった編入勉強と大学生活
皆川諒	京都大学/B4	数理工学コース楽しい (っ^ω^c)
印牧真慧	千葉工業大学/B4	就活の選択肢→編入 ～目標から逆算した活動計画～
細川万里奈	東北大学卒(社会人)	とある東北大生の編入生活
大野満希	岡山大学/B4	Engineering To Physics
土場優雅	東京大学大学院/M2	物理学科への編入
酒井大翔	日本大学大学院/M1	勉強だけが全てじゃない！ やる気が大事！というお話
室岡太一	筑波大学大学院/M2	編入学試験を通して得た情報の「ミカタ」 —情報収集が切り拓く格差の是正—

(登壇順)



発表と参加者の様子

### 3-3. 企業登壇セッション

- ・株式会社 Spring Knowledge 春山正翔さま、濱井正吾さま
- ・株式会社ナレッジスター 渡邊友章さま
- ・OLIENT TECH 株式会社 藤本鼓太郎さま 福井宥斗さま
- ・株式会社みらいスタジオ 野村泰暉さま

10分～30分の登壇のなかで、自社サービスの紹介やご自身のキャリア形成などについてご発表していただきました。挙手による学生からの質問も多く、経験豊かつ視座の高い話は聴衆の関心を惹き寄せていました。



企業登壇セッションの様子

### 3-4. 日本大学紹介

会場を無償でご提供いただきましたため、20分間の日本大学紹介セッションを設けました。理工学部機械工学科の関屋准教授が15分程度、日本大学の紹介や編入に関する説明を行い、残りの5分程度で実際に高専から日本大学理工学部へ編入学した学生が、生の声を高専生に届けました。その他にも、下記のPR活動を通じて日本大学の魅力を発信しました。

- ・大学公式のパンフレット配布
- ・大学公式のノベルティグッズ配布
- ・ミニオープンキャンパスの実施（機械科実験室の特別公開・建築学生の作品展示）
- ・フリートークセッションへの参加



### 3-5. フリートークセッション

各大学15分、企業登壇セッションを踏まえたうえで各ブースを設け、フリートークを行いました。対面ならではの双方向コミュニケーションができました。



ディスカッションセッションの様子

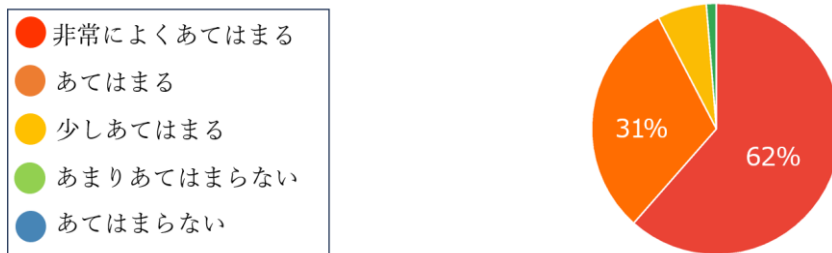


## 4. アンケート結果

5段階評価で参加者へのアンケート結果を以下に示します。主に4以上を肯定的な意見と捉え、今後必要な施策について考察します。

### 4-1. 結果概要

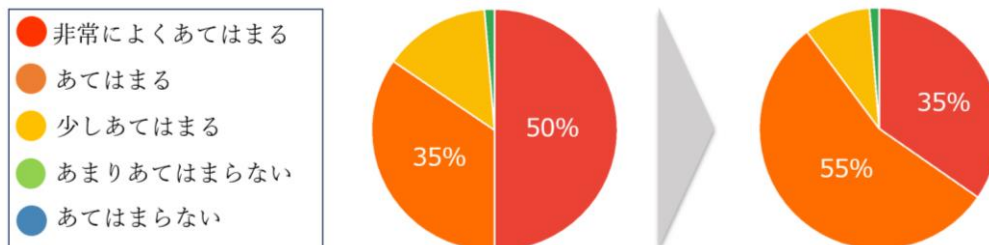
#### A) 本日参加したことで将来の視野が広がったか



93%以上の参加者の将来の視野を広げることができたと答えました。

#### B) 参加される以前は、編入受験に関して不安があったか (左)

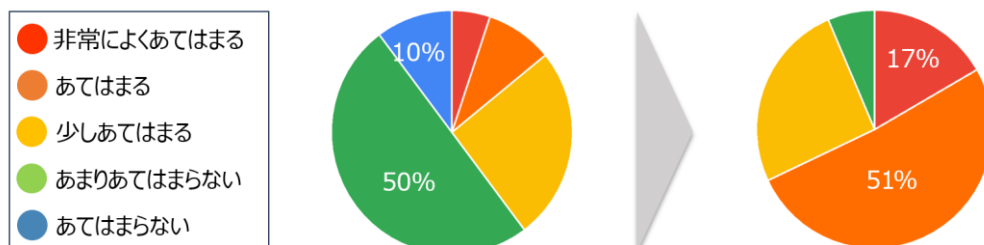
#### C) 本日の話を聞いたことで、編入試験にチャレンジできそうな気がしたか (右)



90%の参加者の編入試験への不安を払拭したと答えました。

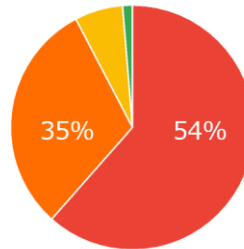
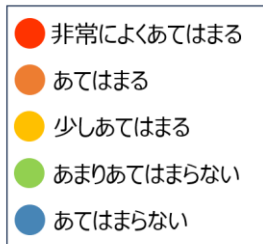
#### D) 本日参加される以前は、学校生活に関する情報をすでに十分持っていたか (左)

#### E) 本日の話を聞いて、キャンパスライフのイメージ像がついたか (右)



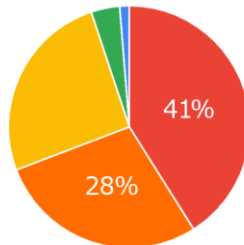
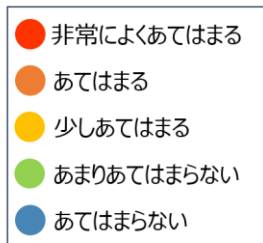
68%の参加者が大学生活についてイメージできたと答えました。

・ F) Uni-KOSEN のイベントに参加したいか



89%の参加者が今後も Uni-KOSEN のイベントに参加したいと答えました。

G) 編入学試験の模試に挑戦してみたいか (右)



69%の参加者が編入学試験の模試に参加したいと答えました。

4-2. 各セッションの満足した理由 (一部抜粋、原文ママ)

■ 5分プレゼンセッション

- ・ 別々の大学の話を一度に聞けたり、スポンサーさんの話を聞けたりしたからです。
- ・ 課外活動などとてもためになる話がたくさんだったが、自分の学科の発表者がいなかった。
- ・ それぞれの学校の特徴やその人の特色が短い時間で十分にわかった。

■ ディスカッションセッション

- ・ 聞きたいことを質問でき、将来像を考えることができたため。
- ・ 詳しい生活や編入の話が聞けたことが満足だし、不安が少し解消されてよかった。
- ・ 先輩に話を聞ける機会がないので良かったです。

## ■ 企業登壇セッション

- ・編入体験者の方で実際に働いている人の話を聞いてイメージを深めることができた
- ・今まで知らなかったサービスを知ることが出来て、利用を検討しようと考えたため
- ・高専からのベンチャー企業であるためか、学校推薦より高専生を縛り付けている感じがなかったから

### 4-3. 参加者の意見

- ・今回登壇した大学以外の大学の話も聞きたい。(大阪大学、お茶の水大学)
- ・興味がある学部(地球惑星科学の分野)の登壇者がいなかった。
- ・自分と同じ出身学科の登壇者がいなかった。
- ・登壇者全員が、TOEICの点数を示してほしかった。
- ・交通費が膨大になるので、次回以降の参加の有無を直ちに決めることができない。

### 4-4. 結果のまとめと今後必要な施策

今回のイベントをきっかけに、現役高専生の編入へのハードルを下げることができ、本イベントの目的を達成することができました。しかし、参加者ニーズから分かる通り課題も散見され、これらの意見を踏まえ、今後開催するイベントでは下記のような施策を検討します。

- ・登壇者の大学、学部、出身学科のバリエーションを増やすため、登壇者にビジター枠を設ける。
- ・各大学の登壇セッションでは、登壇者の情報を横比較できるように、学生のニーズに合わせて発表項目を設定する。
- ・交通費補助の継続および、増額をする。

## 5. 局長所感

ここでは、Uni-KOSENの各局の中心となって運営した局長の所感を記します。

### 総務局長 酒井大翔

イベントの計画から開催まで2ヶ月弱で成し遂げ、想定を遥かに上回る学生に参加頂き、盛大に開催することができましたのは、イベントの趣旨に賛同いただき、ご協賛を賜りましたスポンサーの皆様、急なお願いにも関わらず快諾し、会場を無償でご提供頂きました日本大学理工学部様、ご後援を賜り、全国全ての高専生を対象に本イベントの広告をお手伝い頂きました独立行政法人国立高等専門学校機構様のお力添えあつてのことです。学生だけで運営を行いましたため至らぬ点も多かったかと存じますが、団体としても今後成長を続けていくためのアドバイス等、遠慮なくご指摘頂けると幸いです。Uni-KOSEN「編入説明会」は今後も引き続き開催してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をくださいますようお願いいたします。



### 会計局長 朽方ひかり



まずはスポンサーの皆様、ご参加いただいた皆様、運営局員及びサポートメンバーに厚く感謝申し上げます。会計局長として「第2回編入学説明会」に携わることができたこと、大変嬉しく思います。

自身は高専出身ではありませんが、大学受験を通して特殊な受験方法に対する情報不足を常感じていました。今回のイベントを通じて「大学進学」という選択肢を考える、良い機会になったと確信しております。

ちなみに今回最も印象に残るのが口座開設です。弊団体のような非営利団体は新規口座の開設審査が非常に厳しく、今回は開設まで約1ヶ月、準備も含めると約2ヶ月かかりました。この出来事、準備も含めてかなり印象深い出来事でした。団体名の入った通帳が届いた日は忘れられません。

広報局長 谷山勇士朗



改めまして、協賛企業の皆様には多大なご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。そして、ご足労いただきました現役生の皆様、ここで得たものを進路選択に活かすことができましたら、このたび広報局長として第2回編入学説明会に携わらせていただいたこと光栄に思います。いま将来が見えないのは、暗いからではなく多すぎる光の中にいるからです。皆様が編入を通して輝く未来に進まれますことを心より願っております。

渉外局長 赤嶺和奏

この度は Uni-KOSEN 第2回編入学説明会にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。多くの方々のおかげで、全国の高専生・高専出身編入生を集め、非常に有意義な交流の機会を創出できたと感じております。今回スポンサー様とのやり取りを通じて、高専生や編入生が社会から高い評価と期待を受けていることを実感しました。これは高専出身編入生として嬉しいことであり、また、日々の学生生活の励みにもなっております。

引き続き渉外局として高専生のキャリア形成に貢献できる活動をしてまいりますので、今後とも何卒よろしく申し上げます。



## 6. 総括

Uni-KOSEN 代表 室岡太一

### ◎参加いただいた学生へ

コロナ禍をネット環境で過ごした皆さまにとって、東京への足は非常に重かったものと推察しております。一方で、会場終了時には連絡先を交換している学生も散見され、リアルイベントの意義を体感できたのではないのでしょうか？一高専という閉じた空間では編入を志す仲間は少ないかもしれませんが、全国レベルに視野を広げるとその数は膨れ上がることを実感できたと思います。



今回のイベントはあくまでも皆さんのモチベーションをつける「きっかけ」の場であり、進路開拓の前進は皆さんの継続的な意志が重要になります。今後も Uni-KOSEN は定期的にイベントを開催する予定ですので、また顔を見せていただき、その成長の軌跡や悩みを都度ご相談ください。

### ◎スポンサーの皆様へ

改めまして、この度 Uni-KOSEN へ多大なご理解・ご支援を賜りまして誠に感謝申し上げます。

おかげさまで、Uni-KOSEN 初の対面イベント(第1回はオンライン)となりましたが、参加学生にとって編入試験に対するハードルが下がり、確実に後輩たちの進路選択に寄与するイベントとなりました。換言すれば、リアルイベントの強みである「交流」により、現役学生のモチベーションを変革できました。

私自身、編入学して大学院で研究をすすめるなかで、高専生独自の強みである「手が動く」というパッシブスキルは極めて役に立ちました。高専ならではの経験と、大学で得られる広い視野がクロスされ、国内外にイノベーションを引き起こせると確信しております。こうした成果が世に認められ、社会における高専の付加価値向上に少しでも貢献できればと考え、「簡単に進路をあきらめてほしくない」といった強い問題意識から本会を立ち上げました。

持続的な活動に向けて、組織として正の鼓動を保ち続けるために、私は10月31日付けで代表から退き、新代表の林さんにバトンを託しました。(無論、運営は引き続きサポートしますが、学振 DC1 に採択された関係で団体役員になることができません。)現在、林さんを中心に12月、24年3月のイベントに向けて準備体制を整えております。

今後とも、キャンパスライフや学術研究の楽しさを現役の高専生に伝えつつ、スポンサーの皆様にも本イベントの成果を還元できるよう、運営一同尽力して参りますので、引き続き温かい目でご支援いただければ幸いです。末尾になりますが、この度は多大なご支援をいただきまして大変ありがとうございました。

## 7. 今後の展望

Uni-KOSEN 新代表 林奈香

この度、Uni-KOSEN へ多大なご支援・ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

今回のイベントに参加した学生からの意見を拝見し、大学編入全般に関する情報や、高専生同士、先輩・後輩とのネットワークが、キャリアを考える上で非常に重要であることを改めて実感いたしました。

次回開催予定の12月と3月のイベントでは、今回のイベントでの反省点を踏まえ、参加学生がより満足し、編入に対する不安を払拭できるようなイベントを開催できるよう努力いたします。

Uni-KOSEN 一同は、全ての高専生が「挑戦」できる環境の実現をモットーとし、今後も編入説明会をはじめとするイベント開催を通して、高専生のキャリア形成に貢献してまいりますので、引き続きご支援いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



付録：笑顔爽快の運営一同事後写真 大学生活楽しみながら引き続き頑張ります！！

